

## 令和6年度 卒業証書・修了証書授与式 校長式辞

卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。

人間として最も成長する可能性の豊かな時期に5年間、専攻科もあわせれば7年間の集中的な勉強をする高専教育という枠組みは、決して生易しいものではありません。高専は実践的技術者の育成を目指して高い教育目標を設定しています。実験実習を含めた教育内容はふんだんで、成績認定も規則に従い厳格に行われます。

私は、皆さんが高専の勉強を全うしたことに最大の賛辞を送ります。それぞれに苦労があったかと思いますが、高専生活が良い思い出となり、人生を切り開いていく自信となることを願ってやみません。

秋田高専の教育は、「自立・挑戦・創造」を基本方針としています。

秋田高専に入学したときのことを皆さん思い出してみてください。自身を振り返ってみてどうですか。自分自身の成長を感じることはできますか。

これから皆さんは新しい世界に進みます。そこでも「自立・挑戦・創造」を常に心がけてほしいと思います。

まず、「自立」ということを考えてみましょう。

私は、「自立」という言葉には、社会の中で生きていくという意味が含まれていると考えています。社会とは、一番身近なところでは家族であり、皆さんにとっては今までは高専の仲間であったでしょうが、これからは、職場や大学という一回り大きな社会が待っています。「社会人」という言葉もありますが、皆さんは大人として、もっと広い社会全体に対する責任が求められます。

就職をして一人暮らしを始めれば自立しているといえるのかといえば、それは第一歩に過ぎません。自分の力で生きていくことと、社会とのつながりの中で生きていくことは決して矛盾しません。親元を離れて収入を得て生活を成り立たせるというだけではなく、例えば生活をする地域の人達との関わりもあるでしょう。社会とのつながりを持つ中で、自分にできる範囲の責任を果たしていくことを忘れないください。

社会とは、結局は人と人のつながりです。人と人がつながる社会があるからこそ、人は大きな挑戦に立ち向かうことができる。社会が挑戦の足場となり、仮に失敗したとしても再びの挑戦のための安全網となります。

皆さんの進む世界には、きっと激しい競争があることでしょう。どう切り抜けたらよいか頭を抱えてしまうような局面に出会うこともあるでしょう。大きなプレッシャーを受けることもあるでしょう。

そんな時に、競争にもルールがあること、仲間と助け合うことが困難を解決すること、心を開いて語り合うことがプレッシャーを和らげてくれることを忘れないください。

人と人のつながりが困難を解決します。人と人のつながりを守るのが、社会のルールであり、思いやりや礼儀なのです。

自立した人間は、決して独りよがりのわがままな人間ではない。むしろ思いやりをもち、心を開いて交流し、親切に手を差し伸べるのできる人間です。ともに汗を流し、喜びを分かち合い、ともに涙を流すことのできる人間でなければなりません。

ですから、社会＝人と人のつながりを壊すようなことは絶対にしてはいけません。是非善悪のわきまえをもち、ルールを尊重し決して人としての道を踏み外さないことです。人生には成功もあれば失敗もあるでしょう。成功したからといって自分だけの力だと慢心しないでください。失敗したからといって周りを責めるのは間違いです。思い込みや驕った心で自分と意見の違う人に対して無責任で一方的な非難を浴びせて自らを顧みないことや、苦しい立場に置かれた人を見下しあざける態度をとること。このような

態度は人と人とのつながりを断ち切るものであり、まことに恥ずかしいことです。匿名性の影に隠れて攻撃を行う、見つからなければ構わないという幼稚な意識でルールを破る。こういう嘆かわしい行動は、社会を毒する害悪であるとともに、本人自身を墮落させてみすぼらしい人生に落ち込む結果となります。

これから新しい世界に踏み出していく皆さんは、まずは「自立」を求められます。最初の一步でつまづくことがないように、人と人とのつながりを大切にして新生活を始めてほしいと思います。

時間の経つのは早いです。皆さんが飛び込んでいく社会は、皆さんの力を期待して皆さんを迎え入れてくれます。皆さんは、あっという間に流れに巻き込まれて、時間の経つのも忘れるくらいになるでしょう。

若いとはそういうことです。そういう夢中の体験ができるということは若さの特権です。ぜひ時の経つのを忘れるくらいに夢中になってやってみてください。

チャンスを前にして尻込みすることなく、自信をもって真正面から取組んでください。皆さんなりに知恵を絞って工夫をこらして、大きな花を咲かせてください。

皆さんが秋田高専で学んだこと体験したことを土台として、視線を高く保って胸を張って進んでいくことを期待します。